

## は じ め に

小平市ではこれまで「老人のための明るいまちモデル都市」、「障害者福祉都市」、「健康文化都市」、「東京都福祉のまちづくりモデル地区」の指定をはじめ、多くの福祉施策を市民と共に取り組んできました。

市の平成31年1月1日現在の人口は、193,596人で65歳以上の高齢者人口は44,484人、高齢化率は23.0%で前年同様の割合、一方14歳以下の年少人口は25,361人、人口に占める割合は13.1%で0.1ポイント上昇しており、高齢化がゆるやかに進んでいます。

平成30年度に取り組んだ主な事業として、地域福祉関連では、「小平市第四期地域保健福祉計画」及び「小平市第三期福祉のまちづくり推進計画」（平成30年度～令和8年度）に沿って、地域福祉と福祉のまちづくりを総合的に推進しました。また、生活困窮家庭及びひとり親家庭の小学6年生・中学生を対象とする学習支援事業の受講者数及び実施場所を拡大するとともに、新たに派遣型学習支援を開始しました。

高齢者・介護保険事業関連では、「小平市地域包括ケア推進計画」（平成30年度～令和2年度）に沿って、地域包括ケアシステムの構築に向けて、計画で掲げた高齢者・介護保険施策を体系的に推進しました。

障がい者関連では、「小平市障がい者福祉計画」（平成27年度～令和2年度）、「第五期小平市障害福祉計画」及び「第一期小平市障害児福祉計画」（平成30年度～令和2年度）に沿って、各障がい者施策を体系的に推進しました。また、障がい児の重層的な地域支援体制の構築を目指すための児童発達支援センターの設置に向け、検討委員会や地域自立支援協議会等で協議を重ねました。

子育て関連では、「小平市子ども・子育て支援事業計画」（平成27年度～令和元年度）及び「小平市子ども・若者計画」（平成30年度～令和9年度）に沿って、各子育て支援施策及び子ども・若者育成支援施策を体系的に推進するとともに、「(仮称)第二期小平市子ども・子育て支援事業計画」（令和2年度～6年度）策定のためのニーズ調査を実施しました。学童クラブでは、入会児童数の増加に伴い、新設3か所の指定管理者の選定を行いました。

保育関連では、私立認可保育園の新設により保育定員の増を図るとともに、3人の認定家庭福祉員が国制度の家庭的保育事業へ移行し、また、新たに1つの幼稚園でアットホーム事業を開始するなど、保育サービスの拡充に向けて取り組みました。

ひとり親関連では、ひとり親家庭の父母等の相談を受けながら、各家庭の自立に向けて、子どもの修学費用等の資金貸付や生活の安定につながる就労支援を行いました。

今後とも、多様なニーズに対応していくため、時代の変化に対応したサービスの見直しを進めるとともに、各種の保健福祉サービスの充実に努めていきたいと考えています。

令和元年9月

小平市健康福祉部  
小平市子ども家庭部